

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

通信用構内ケーブル

JCS 9070 : 2019

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

(一社) 日本電線工業会

2019年 6月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者又は規格の利用者の責任において行わなければならない。

この規格は、日本電線工業会 通信ケーブル専門委員会の審議によって新たに改正したものであり 2019 年 6 月 28 日より発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類及び記号	1
4 特性	2
5 材料, 構造及び加工方法	2
6 試験方法	4
6.1 外観	4
6.2 構造	4
6.3 導通	4
6.4 導体抵抗	4
6.5 耐電圧	4
6.6 絶縁抵抗	4
6.7 静電容量	5
6.8 静電結合	5
6.9 絶縁体及びシースの引張り	5
6.10 加熱	5
6.11 耐寒	5
6.12 加熱変形	5
7 検査	5
8 包装	5
9 製品の呼び方	6
10 表示	6
10.1 ケーブルの表示	6
10.2 包装の表示	6
付表	7
解説	8

通信用構内ケーブル

Premises communications cables

1 適用範囲

この規格は、導体をポリエチレンで絶縁し、全線心着色識別、星形構成にして、シースとして塩化ビニル樹脂を主体としたコンパウンド（以下、ビニルという。）を施した通信用構内ケーブル（以下、ケーブルという。）について規定する。ただし、ケーブルの使用温度範囲は、 -15°C から $+60^{\circ}\text{C}$ までとする。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の一部を構成する。引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 3005 ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

JIS C 3102 電気用軟銅線

3 種類及び記号

ケーブルの種類及び記号は、表 1 のとおりとする。

表 1—種類及び記号

種類	記号 ^{a)}
通信用構内ケーブル	TKEV
注 ^{a)} 記号の意味は、次による。 T : 通信用 K : 構内 E : ポリエチレン V : ビニル	